

府中市グランドデザイン（素案）に対する意見募集の結果について

番号	ご意見等	ご意見に対する本市の考え方
1	<p>府中市に大学が出来るみたいで、大学で最先端の研究をして、その応用を工場で製品を生産して。工場が儲かって、地元の商店街が賑やかで活気ある街になって、人口が増加すればいいと思います。大学⇄工場⇄地元の商店街、三位一体で昔の府中市は工場が大きくなったのでこの道しかないと思います。</p> <p>工場が増えれば景気が良くなると思います。</p> <p>グローバルな経済で第3次産業革命（パソコン、インターネット）から第4次産業革命（宇宙ビジネス「宇宙ビジネスの衝撃」ダイヤモンド社2018年）に移行していると思います。</p> <p>首無し地蔵を府中市のパワースポットとか、霊場とかヒーリングで商店で観光客が饅頭とか買った帰ってお好み焼き店で食事をしてもらえれば景気が良くなると思います。</p> <p>旅館も流行ればいいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本市は、ものづくりを中心に発展してきたまちであるため、工場を核としながら行政や地元企業等と連携してまちづくりを進めていくことは重要であると考えます。そのような方向性は、本計画の中でも、P16「ものづくり府中のイメージが広く浸透」やP19「ものづくり体験と地域の活動の融合」ほかに記載しております。</p> <p>また、第4次産業革命とのことですが、次世代通信技術とこれまでの府中市の資源との掛け合わせで、活かせる要素はあると考えており、4章の4.2 P23 ほかに記載しておりますが、取組方針に記載していないので、まちなかで大学と連携した次世代通信技術を使い学習できる（離れた場所とも）拠点としての整備という旨を追記します。</p> <p>首無し地蔵等に関する観光資源については、P31の図“多様な人々の交流・滞在によるアクティビティエリア”の中に含めるようにし、当該エリアの回遊性の向上を図るよう施策を展開していくことを考えています。</p>
2	<p><u>伝統的な発酵産業の府中味噌に市街地で存続できるよう配慮願う</u></p> <p>コンパクトシティを旨とした府中中心市街地の策定には、時代の推移とともに変化すべき項目が取り上げられており実現されて、活力ある府中市が単独で存立して発展</p>	<p>ご意見ありがとうございます。府中味噌という地域資源の存続のため、味噌の製造だけにとどまらず、来街者等に広くPRする必要があると考えていま</p>

番号	ご意見等	ご意見に対する本市の考え方
	<p>いけることを願うものです。市街地をおおむね商業区域や居住区域、歴史的資源保存区域などに区分することは、行政の効率化やサービスの充実、濃密化には有効であることは認めます。一般市民を、特に子育て環境整備などで高齢者を支える若者をターゲットに、ローカライズ促進や、リモートでの仕事人口などなどで流入促進を図ることは特に重要であると思います。新たな創造として5G整備などIT社会への道筋は重要です。</p> <p>しかし、新たな市街地区域グランドデザインに地域資源として、また歴史的観光資源としての味噌蔵への配慮が見えないことに危惧し再考を訴えるものです。以下にその理由と要望を述べます。</p> <p>府中市は伝統的に家具や鉄鋼などの産業で発展しました。特に戦後の物不足を背景にした前記の産業は大きく発展したものです。一方で味噌や醤油、酒などという旧来の伝統製造業は需要の伸びで継続されるものでなく、戦前の需要も戦後の需要も人口に左右されるのみで大きな発展余地がなく、旧来の街中でひっそりと存続してきました。多くの伝統的醸造業はその周辺人口の需要だけでは継続できず、流通革命での全国スーパーの台頭によって地方の伝統的味の食品産業は淘汰されてきました。</p> <p>伝統的な地域資源で特異的存在の府中味噌もご多分に漏れず、昭和50年代から衰退の一途をたどり、大きくその数を減らしてしまいました。その一因はかつての市街地区域設定にもあります。</p> <p>高度成長期にあっても、伝統的な、酒、醤油そして味噌など歴史的メーカーは技術革新とともにその蔵工場の抜本的改良が大規模流通システムや衛生環境整備に対応必須であったにもかかわらず、市街地に立地していたために老朽化した蔵の建て替え不許可などのため最新機械の搬入さえも、工場変更できない条項に縛られて不可となり、やがて取り残されてしまったのです。それでも小さな府中市に3社の味噌工場があるのは全国的に見ても特異的なことです。味噌醤油産業は発酵という微妙な過程を</p>	<p>す。そのため、P19、27の「来街者によるものづくり体験と地域の活動の融合」に記載していますように、ものづくり体験や加工品などの販売等を通じて、伝統的な地域資源で特異的な存在の府中味噌への理解促進とともに、今後とも存続できるように取り組んでいきます。</p> <p>また、蔵の建て替えや面積の拡充等への対応については、グランドデザインの中で詳細を記載できませんが、歴史的観光資源であることも含め、地域貢献に資する施設であることも認識しており、用途地域の変更あるいは地区計画の指定など、都市計画的な対応を図ることで、存続できるよう検討してまいります。</p>

番号	ご意見等	ご意見に対する本市の考え方
	<p>主とすることから、井戸水や日当たりなど地理的条件等環境変化は味の変化となり立地移転は避けたいものです。<u>醸造産業は一般の工場とは地理的条件に左右される特殊なものであることを理解いただきたい。</u>醸造蔵はもともと何処の町でも長年市中に共存し地域資源として伝統的な街並みの一景色を担ってきたものです。また3社の味噌蔵に住みついている菌（蔵菌）は、この地域独特のものであり、数百年を経て育てられたもので、他地域に移すとその菌は繁殖できなくなる特性も持っています。</p> <p>府中味噌蔵は町中であって江戸期からの名声伝統と歴史的味わいとしての一面を持ち、地域資源として観光にも大きく寄与するものですが、府中市は、実は市街地区域設定で、100年以上市街地に立地していたがために結果的に工場刷新、つまり変革のための建て替えや拡充を阻害してきました。よほどの大規模な工場拡充でない限り既存のこうした醸造業工場の現地拡充や建て替えを考慮いただきたく考えました。高齢化で労働人口減の中で、ITや自動化を進めるには老朽化した蔵の建て替えや面積の拡充が必要なのに些細な拡大さえ認められないでは消えるほかないでしょう。府中ではもはや醸造業は味噌しか残りませんでしたが、地域資源の観光的側面を持ち100～150年以上の伝統を持っているこの産業の育成にお力添えをいただければと考えます。</p> <p>〇〇味噌は国内の需要のほかに海外需要を40年にわたって開発し、今や米欧、豪など広く輸出していますが、海外のディーラーのメーカーに対する羨望の的は市街地に伝統的に存続するファミリービジネスであることです。まさに欧米のワイン工場並みの視点で見られています。</p> <p>味噌蔵の市街地商業住宅区域にも立地を認め、周辺の空き地を活用する拡充などを可能にする措置を望むものであり、この規制でやむを得ず市外にでて府中味噌を標ぼうできなくなることは避けたいと考えています。</p>	

番号	ご意見等	ご意見に対する本市の考え方
3	<p>府中市にて小さなフォトスタジオを運営しています。</p> <p>仕事で福山、神石観光協会などの方々と地域活性化に携わる仕事も行っております。</p> <p>今後府中市でも地域活性化につながることをしたいです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最近では若い方がどんどん起業し、ハンドメイド、ネイル、エステなど幅広く活躍。お手軽で購入しやすい、アクセサリ、赤ちゃんグッズなど地元の方が作製したものの販売。 2. おしゃれなフォトスポットには人が多く集まります（笠岡ベイファーム、世羅高原のようなお花畑等）少し中心部より北になりますが、桜が丘の会社ヒロボーさんの元レストランが空きになっていてそちらのロケーションがとても素敵です。そこでフォトスポット、カフェ、雑貨販売、ワークショップなどいいかと思えます。もし叶えばその場所にフォトスタジオを入れたいです。定期的な撮影イベントなど人気なので季節のイベントを行ったり。 3. 私の店に来るお客様は、お子様連れで遠方の方も多いのですが、紹介できる飲食店や観光地が府中市には少ないです。七五三、百日祝い、結婚記念日などの祝いに食事ができる場所も希望します。 4. 今は SNS の影響がすごいです。目を引くところにはすぐに集まります。府中市がもっとおしゃれに、楽しめる場所となりますように。 	<p>ご意見ありがとうございます。おっしゃられるようにランドデザインも計画を作ることがゴールではなく、皆様と思いを共有し地域活性化につなげることを目的としています。</p> <p>ロケーションの都合もあるかと思いますが、本ランドデザインの中で、府中駅南に道の駅等と連動した市民がゆったりと過ごせる広場空間づくりを考えており、御社で取り組んでおられるような撮影イベントなど、イベント利用などにも大いに活用していただくことで、駅周辺の賑わいと交流を創出することを考えております。</p> <p>府中市においても地域活性化につながる支援や、情報発信など積極的に行っていきます。</p>

※ ご意見については、文章を要約して掲載しています。また、個人名・企業名等については、個人情報保護の観点により、掲載しておりません。